

形に

木津川市 プロデュース プロジェクト

2015年度 活動レポート

木津川市のみなさん 朗報です

ホームページ
作りました!!

みなさん「木津川市プロデュースプロジェクト」
をご存知ですか？
私たちは同志社大学を拠点に木津川市のまちづくりに4年間取り組んできました！
そんな私たちの取り組みをもっとたくさんの人達に知ってもらいたいと思い、webサイトを開設しました。これまでの取り組みや、私たちが考えたプロデュースチャートなどをまとめてみましたので、ぜひ下のQRコードから見に来てください!! 意外と知らない木津川市の一面を知ることができるかも!?



ご協力いただいたみなさま

木津川市役所
木津川市教育委員会
木津川市商工会
一般社団法人 木津川市観光協会

木津川市のみなさま

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



未来を

2015年度
同志社ローム記念館プロジェクト
木津川市イベントプロデュースプロジェクト

プロジェクトメンバー (五十音順)

小川翔平(同志社大学理工学部1年)
加藤裕紀(同志社大学大学院生命医科学研究科1年)
佐藤菜都子(同志社大学心理学部3年)
清水佑穂(同志社女子大学学芸学部3年)
菅原龍之介(同志社大学理工学部1年)
鈴木慎也(同志社大学心理学部1年)
戸田稔理(同志社大学心理学部1年)
原奈緒美(同志社大学文化情報学部4年)
横山諒(同志社大学理工学部3年)

プロジェクト責任者

飛龍志津子(同志社大学生命医科学部准教授)

参加団体

特定非営利活動法人
プロデュース・テクノロジー開発センター

2015年度 活動レポート

～木津川市を考え続けた一年でした～

2014年度のメンバーが作成した「プロデュースおたすけキット」を参考に、私たちは一年間プロデュース活動を続けてきました。しかし、今年度の活動では企画を実施したため、新たな段階を追加し、下記の「プロデュースチャートver2」を作成しました。プロデュース活動の過程と成果を、チャートと共に紹介します。



まちの良さを市外へPRするための「木津川キャラバン」 出動

今年度は木津川市を飛び出し京田辺市の同志社クローバー祭へと出動!! キャラバン隊の目玉として有名な作家さんとコラボによる「たけのこタッキー」のカブリモノを作成、みんなに笑顔をお届けしました!!

17 「This is 目玉!!」
みんなでつくったキャッチコピー!!PRにつながるキャッチコピーを考えることで来場者の増加につながりました。

20 「あなたのお仕事は…」
一人一人の得意分野を活かして役割を決めていくことで、それぞれが精一杯力を発揮し当日のキャラバンを盛り上げることができました。



<山城中学校の活動より>

中学生も大学生も親衛隊

地元中学生のこだわり満載「地域密着型の進化する英語マップ」でご紹介

加茂地域密着型の地図を作ると決まった頃から何回も現地に出向いて情報を集めてきました。地図を楽しんでもらえるように内容だけではなくレイアウトにもこだわっています。完成したマップは加茂地域のお店などに置いていただいていますので見かけたらぜひ手に取ってみてください。

21 「win-win大作戦!」
自分たちの活動理念を語り、共感してもらえたことで距離が縮まり、地図への掲載許可だけでなく、地域の魅力について多くの話を聞きだすことができました。

<泉川中学校の活動より>



何十軒もお話しながらお茶やお腹がちやぽちやぽに



放置竹林を活用して みんなで「竹灯籠イベント」を開催

木津川市の放置竹林で自ら竹を伐採!! 木津川市やましろまつりにて、屋にはその竹を使って市民と共に灯籠を作るワークショップ。夜には市長も一緒に多くの市民と交流する竹灯籠の点灯式となりました。

10 「グラフでランキング」
「放置竹林」と「市民の交流」の2つの要素を用いて分析。視覚的に整理したことによって、魅力的なアイデアを選び出すことができました。

23 「広報戦略考案隊」
このイベントに参加してくれる対象者を明確にすることで、広報の手段を決定、場所や時期を考えました。



<木津南中学校の活動より>

伐採した竹を部屋で保管していたら部屋が竹の香りでいっぱい!!



まちの魅力をぎゅっと集めた『きづのもり』デザインの開発

私達の意見を市内在住のクリエイターさんに何度も伝え、ついに完成した『きづのもり』デザイン。今年は地域まつりや市内のお店で使用して頂きました。このデザインを通して、市民の方にも地元のことを考えるきっかけにつながりました。これからも木津川市を多くの人に知ってもらえるよう『きづのもり』デザインを広めていきます。

C 「Help me!」
お願いに訪れたケーキ屋さんでは、「認知されていないデザインのグッズを使うだけでは『きづのもり』は広まらない。どうデザインを利用するかによって広まり方は変わってくる。」と、『きづのもり』ケーキを開発してもらいました。デザイン普及を考える上で重要な経験となりました。

<木津第二中学校の活動より>

私たちのデザインがまさかケーキになるとは!!



世界中の方に木津川市をいっぱい知ってもらおう「きづな旅」を実施

世界中に木津川市の良さを伝えたい!と海外の方が喜ぶ「きづな旅」を企画。自分たちで調べた内容をもとに二か国語ガイドも実施しました。何度も交渉を重ねるうちに、地元の協力者も増えていきました。みんなで作ったツアーによって、観光客も私たちも全員が最高の笑顔になりました。

22 「それで完璧?」
プレツアーを実施したことで、実際の環境を想定してガイド時の立ち位置や手ぶりを考えることができました。シミュレーションをもとに練習を重ね、本番でも焦らずに行動することが出来ました。

<木津中学校の活動より>



中学生達の成長ぶりに大学生も思わず涙が!!

